

2016年（平成28年）11月28日（月曜日）

少年硬式野球

リトル
シニア能代

第8期生の修了式

高校では甲子園目指し

少年硬式野球のリトルシニア能代の第8期生修了式は26日、能代市柳町のプラザ都で行われ、チームを支えてきた中学3年生8人への感謝と高校での活躍を期待して、修了証が手渡された。

リトルシニア能代は、能代山本の野球レベルの向上、高校野球の甲子園とプロでも通用する選手の育成を目指して市野球協会が20年に創設。中学3年生は8月で引退し、その後チームは部員不足から秋田南と合流し、現在小学6年生から中学2

年生までの12人で練習に励んでいる。修了式には、3年生8人をはじめ選手、大沢勉監督、指導スタッフ、保護者ら60余人が出席。市野球協会の後藤健会長が3年生一人ひとりに修了証を手渡した後、皆さんは野球に熱い思いを持って活動してきた。人数不足で物足りなかったかもしれないが、最後までよく続けてくれた。これからの活躍を期待している」と述べた。

続いて大沢監督が、思い出を振り返りながら3



引退した3年生に修了証が手渡されたリトルシニア能代の修了式

年生一人ひとりにメッセージを送り、「きょうで一区切り。目指す方向に進めるように、野球と同じ

ように勉強も頑張ってください」と激励した。

その後、修了生を代表して前主将の川村新之助君（能代一中3年）が「監督やコーチにたくさんのことを教えてもらい、多くの人に支えられて3年間頑張ることができた」と感謝の思いを語った。また、新主将の柴田汰翔君（能代東中2年）が「3年生と楽しく過ごせた日々はかけがえない時間だった。先輩たちが果たせなかった全国制覇を目標に頑張っていく」と述べ、3年生の門出を祝った。